

モンゴル

2016年第1四半期においてモンゴル経済が示した回復の兆しは、4～5月にかけて不確かになってきている。鉱工業生産額は増加を続け、貿易収支の黒字は拡大しているが、政府財政収支の赤字は拡大しており、登録失業者数は増加している。一方、融資残高は縮小し、不良債権比率は高まっている。第1四半期のGDPは今年の経済成長率が予測値を下回る可能性を示唆しており、政府財政収支の赤字はさらに拡大する可能性がある。

マクロ経済指標

2016年第1四半期の実質GDPは前年同期比3.1%増で、前年同期の同4.1%を下回った。季節調整値では前期比0.7%の成長にとどまった。前年を下回る結果は、GDP全体の60%を占めるサービスの生産と生産に対する純課税額の低迷によるものである。それらは1.2～1.4%の成長にとどまった。

鉱工業生産額は鉱業部門の伸びに支えられて、4月に前年同月比3.2%増、5月には同16.6%増であった。このうち、銅精鉱は前年度月比30.7%、原油は同14.2%の生産増加であった。また、金は2016年の1～5月で生産が倍増した。しかし製造業の生産額は低迷を続け4月に前年同期比8.3%減、5月に同6.3%減であった。

2016年4月末の登録失業者数は3万3400人で3月末の3万5400人を下回った。しかし5月には3万3700人となり、前年同期比で5.2%増加した。労働省によれば1～5月期において新規の登録失業者数は前年同期を10%上回っており、失業手当の給付額は前年同期を26.8%上回った。

消費者物価上昇率は前年同月比で4月に2.1%、5月に1.8%となり、一桁台となった。2016年3月にはさらに低下し前年同月比1.7%であった。非アルコール飲料及び食品、住宅、水道、電気、燃料、交通・通信、余暇・文化サービスは、それぞれ前年同月比で1.3%未満低下し、その他の財、サービスは上昇した。最大の上昇幅は教育で前年同月比23.1%、保健サービス・医療が同5.4%で続いている。

通貨トゥグリグの減価の対米ドル平均為替レートは4

月に1ドル=2012トゥグルグ、5月に同2006トゥグルグで、3月に同2046トゥグルグから増価している。しかしそれは前年同月比3.4%の減価となっている。

2016年1～5月期の国家財政収支は8770億トゥグルグの赤字となった。財政収入が前年同期を0.6%下回った一方、財政支出は前年同期を22.1%上回った。財政収入の低下は主に付加価値税及びその他の税の減収によるものである。同時期に補助金を除く全ての項目で、支出は増加している。

2016年5月末の貨幣供給量(M2)は10兆7000億トゥグルグ、53.5億ドルで前年同期比9.1%増となった。一方、5月末の融資残高は11兆8000億トゥグルグで前年同期比3.6%減であった。他方、3月末の不良債権比率は9.3%に上昇し、2011年6月以来の高水準となった。これはモンゴルの主要輸出品の価格下落と、鉱業部門などへの外国直接投資の減少による、ビジネス環境の悪化を反映したものである。

外国貿易

2016年1～5月期において貿易総額は29億ドルで、前年同期を12.4%下回った。輸出は18億ドル、輸入は12億ドルであった。輸出は前年同期比5.1%減、輸入は同19%減であった。輸入の減少により1～5月期の貿易収支は6億300万ドルの黒字となり、前年同期を42.7%上回った。

銅精鉱、モリブデン精鉱、原油、金などの主要輸出品である鉱産物の輸出数量は拡大しているが、金を除いては国際市場における価格は低迷しているため、輸出金額は低下している。

経済回廊の建設

2016年6月23日にタシケントで開催された3カ国首脳会談において、モンゴル、中国、ロシアをつなぐ経済回廊の建設が合意された。これは過去3年間の協議の結果である。選ばれた32のプロジェクトが経済回廊の枠組みの中に組み込まれ、モンゴルの「ステップロード」、中国の「シルクロード」、ロシアの「ユーラシア経済連合」のメガプロジェクトの統合部分と位置づけられる。全体の3分の1以上のプロジェクトが交通インフラの改善を目的としたものである。

(ERINA調査研究部主任研究員 Sh. エンクバヤル)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2015年 1Q	2015年 2Q	2015年 3Q	2015年 4Q	2016年 1Q	2016年 4月	2016年 5月	2016年 1-5月
実質GDP成長率(対前年同期比：%)	6.4	17.5	12.6	11.7	7.8	2.3	4.1	2.3	0.8	2.7	3.1	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比：%)	10.0	9.7	7.2	16.1	10.7	8.8	7.2	9.0	22.0	▲2.9	14.1	3.2	16.6	12.4
消費者物価上昇率(対前年同期比：%)	10.1	9.2	14.3	10.5	12.8	1.9	9.5	8.4	6.1	2.7	1.8	2.1	1.8	1.9
登録失業者(千人)	38.3	57.2	35.8	42.8	37.0	32.8	33.3	32.7	31.1	32.8	35.4	33.4	33.7	33.7
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,356	1,266	1,359	1,526	1,818	1,970	1,960	1,939	1,988	1,994	2,025	2,012	2,006	2,018
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比：%)	63	37	19	24	13	▲5.6	▲0.5	▲0.7	▲1.4	▲5.6	2.1	8.4	9.1	9.1
融資残高の変化(対前年同期比：%)	23	73	24	54	16	▲6.5	7.8	▲2.9	▲5.3	▲6.5	▲3.6	▲5.4	▲6.1	▲6.1
不良債権比率(%)	11.5	5.8	4.2	5.0	5.0	7.1	5.7	6.5	7.0	7.1	8.2	9.2	9.3	9.3
貿易収支(百万USドル)	▲292	▲1,781	▲2,354	▲2,089	538	872	376	156	153	188	360	125	118	603
輸出(百万USドル)	2,909	4,818	4,385	4,269	5,775	4,670	1,078	1,293	1,171	1,129	959	388	427	1,775
輸入(百万USドル)	3,200	6,598	6,738	6,358	5,237	3,797	702	1,137	1,018	940	599	264	309	1,172
国家財政収支(十億トゥグルグ)	42	▲770	▲1,131	▲297	▲868	▲1,163	▲145	▲390	▲332	▲296	▲616	▲48	▲213	▲877
国内貨物輸送(対前年同期比：%)	34.5	34.7	1.7	▲1.3	20.1	▲16.0	▲15	▲32	10	▲17	6.4	-	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比：%)	31	11	6.3	▲0.5	2.8	▲8.0	▲5.9	▲5.0	▲5.4	▲14	13	2.1	3.8	8.5
成畜死亡数(対前年同期比：%)	495.5	▲93.7	▲34.1	84.8	▲63	56	▲36	76	112	87.8	14.7(倍)	18.5(倍)	13.4(倍)	3.4(倍)

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所)モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑」、「モンゴル統計月報」各号 ほか